

交通安全かわら版

令和 7 年 9 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 3 1

～高齢運転者の踏み違いによる交通事故防止～

実は
その**交通事故**
サポカーで
防げたかも…

その他
27件 35%

高齢者
50件
65%

踏み違いによる
死亡・重傷事故の
約7割が高齢者



H27～R6の10年
間でブレーキとア
クセルの踏み違い
による死亡・重傷
事故(77件)

知って
ましたか？

後付け装置でもサポカーに！

今ご利用の車に『急発進加速制御装置』
などの**サポカーの機能**を追加できる商品
が販売されています。



後付けの『急発進加速制御装置』

後付け装置の購入・取り付けの流れ

愛車にサポカー機能を追加したい

自動車メーカーやカー用品店をご利
用ください

販売事業者が取り付けを行います

使用上の注意に留意してご利用くだ
さい

※利用方法の詳細については各自動車メーカーや各販売店にお問い合わせください。

《市町村による補助金》

茨城県内では、後付けの『急発進加速制御装置』の購入や取り付けに要する費用を補助する取り組みを実施している市町村があります。
詳しくは、お住まいの各市町村にご確認ください。

サポカーで
家族に安心を！
一度みんなで
話し合ってみよう！



交通安全かわら版

令和 7 年 9 月

茨城県警察本部交通総務課

～ 本年の交通事故死者数が 50 人を突破 ～

No. 32

県内の交通事故死者数

50人

(死者数全国ワースト 10 位)

9月6日(土)午前6時20分頃、普通乗用車が歩行者を撥ねる交通事故が発生し、歩行者の方が亡くなりました。

この事故で、県内の交通事故死者数は50人（前年同期比－12人）となりました。

【本年の交通死亡事故の特徴】

- ・ 死者全体に占める高齢者の割合は58%（前年同期比＋1.2%）
- ・ 飲酒運転による死亡事故は5件（前年同期比＋1件）
- ・ 状態別死者数は、自動車乗車中が27人（前年同期比±0人）で最多

失った命は戻りません…。守りましょう、交通ルール

○運転者の方は



交差点では
確実な安全確認



横断歩道は
歩行者優先



早めのライト点灯

○歩行者の方は



横断歩道の利用



手を上げて
横断の意思表示



夜間は
反射材の着用

交通安全かわら版

令和 7 年 9 月
茨城県警察本部交通総務課
No. 33

～ 令和 7 年 8 月 末 の 交 通 死 亡 事 故 ～

令和 7 年 8 月 末 の 交 通 死 亡 事 故 の 特 徴 【発生件数 47 件、死者 49 人】

- 本県の死者 **49人** 前年比 **-13人** **全国ワースト第10位**
 - ◇ 人口10万人当たり 1.74人 (**全国ワースト第15位**)
 - ◇ 自動車1万台当たり 0.18人 (**全国ワースト第31位**)
 - ◇ 道路キロメートル当たり 0.88人 (**全国ワースト第34位**)
- 全国の死者数 **1,549人**、前年比 **-106人** (増減率 -6.4%)

- ◆ 「高齢者」の死者数 **28人** (構成率 57.1%)、前年比-4人 (**全国ワースト第10位**)
- ◆ 「飲酒運転」による死亡事故は **4件**、前年比±0件
- ◆ 「高齢者」が第1当事者となる死亡事故は**18件**、前年比-7件
- ◆ シートベルト非着用の死者数は**11人**、前年比+1人
- ◆ 県西地域で**18人** (構成率 36.7%)

【交通死亡事故の主な特徴】

(1) 市町村 ※高速道路を除く	◇ 多発市町村 8人～水戸市(-1) 4人～古河市(-1)
(2) 第1当事者の 年齢層 (件)	◇ 70歳以上 13件(-6) , 60歳代 7件(±0) 20歳未満(+5), 20歳代(-5) 各6件 ◇ 高齢者 18件(-7), 青少年 6件(-1)
(3) 第1当事者の 違反 (件)	◇ 一時不停止 10件(+8) , 前方不注意 8件(-7) 信号無視(+4), 歩行者妨害(+1), 最高速度(-2), 運転操作不適(-4) 各4件
飲酒運転 (件)	◇ 飲酒運転による交通死亡事故 4件(±0)
(4) 状 態	◇ 四輪車 27人(±0) うち同乗 8人(+2), 歩行者 12人(-9) うち横断中 8人(-6) 自転車 2人(-4), 二輪車 8人(±0)
(5) シートベルト	◇ 四輪乗車中 27人 うち シートベルト非着用 11人(40.7%) , 着用 15人(55.6%), 着用不明 1人(3.7%) 非着用11人中、8人(72.7%)は着用していたら助かった可能性あり
(6) 時間・昼夜	◇ 時間帯別 4～6時 7人(+4) 10～12時(+1), 14～16時(+1) 各6人 ◇ 昼間 29人(-5) 構成率 59.2%, 夜間 20人(-8) 構成率 40.8%
(7) 事 故 類 型	◇ 人対車両 11人(-10), うち横断中 8人(-6) ◇ 車両相互 24人(+1), うち 出会い頭 17人(+11) ◇ 車両単独 14人(-3), うち工作物 12人(-1) ◇ 列車 0人(-1)
(8) 死者の年齢層	◇ 80歳以上 14人(-4) , 70歳代 12人(±0) ◇ 高齢者 28人(-4) 構成率 57.1%, 青少年 4人(±0) 構成率 8.2%
特 記 事 項	◇ 令和7年8月中の死亡事故(発生件数3件, 死者数3人)の特徴 ・死者の年齢別では、高齢者が3人

※注1 「青少年」とは16歳以上24歳以下、「高齢者」とは65歳以上をいう。

2 「飲酒運転」とは原付以上が第1当事者となった事故で、その運転者が飲酒していた場合をいう。

3 ()内は前年比